

鳥インフルエンザ防疫対策の強化

当センターでは、「京地どり」の種鶏ヒナや採卵鶏等約 1 千羽を飼養しており、高病原性鳥インフルエンザの防疫対策を周年実施しています。

韓国では、9月以降17件の発生が確認されており、今年の冬も渡り鳥により本病ウイルスが侵入する可能性が非常に高まっています。

そこで、鶏舎や堆肥舎への野鳥や野生動物の進入防止のためのネット、フェンスや車両消毒装置等を念入りに点検するとともに、鶏舎周辺に消石灰を追加散布するなど、防疫対策を強化しています。



衛生管理区域境界の消石灰散布による消毒